



佐藤照彦議員

## 漁業振興

# 漁業系廃棄物の処理対策

## 水産廃棄物処理護岸の利用を検討

### 質問

- ① アワビ、ウニなどの磯資源を増産するため資源管理をどうする。
- ② カキ、ホタテ殻やその付着物など漁業系廃棄物の処理対策の早期解決を。
- ③ 三陸沿岸漁業の資源確保に国、県の努力を。

### 沼崎町長

組織的に検討する必要がある。水産技術センターや水産部に提案している。

② 貝殻処理の中期の対策として、町が主体となり、水産廃棄物処理護岸を利用して処理する検討をしている。長期的対策として、破碎した上でリサイクルする方法を進めたい。付着物については、安価な処理方法を漁業者と共に模索したい。

③ 三陸沿岸は多種類の漁業資源に恵まれ、つくり育てる漁業を推進し発展してきた。中でも、漁協経営を左右する、秋サケ不漁原因の究明と価格対策については、今年も県に要望している。また、近年減少傾向にあるアワビやヒラメの資源については、天然資源の増殖に関する研究と放流効果の検証を要請している。



宮城県松島町のカキ殻処理の様子  
業者に原料として出荷するなど、  
リサイクル処理されていました  
(産業建設常任委員会の視察研修から)

## 国保運営

# 軽減のため応益・応能比率を見直し 割合を含め事業の見直しを進める

### 質問

- ① 十一月末の国民健康保険税の収納額と率、過年度分の滞納世帯と滞納額は。
- ② 保険証の取り上げはやるべきでないか考えるが。
- ③ 十一月末の短期保険証発

行はどれぐらいか。

④ 低所得者、ボーダーライン層の負担を軽減する立場から、応益と応能の比率五〇対五〇を見直すよう求めてきたが、どのようにする考えか。

### 沼崎町長

- ① 現年度分の収納済額は、三億九千七百二十六万円、収納率は、五二・六割。滞納繰越分の収納済額は、三千三百六十七万円、収納率は九・八割。過年度分の滞納は、八百四十四世帯で、三億九百九十六万円。
- ② ケースバイケースで対応。
- ③ 十一月二十二日現在で、一カ月が三百五十七世帯、三カ月が百九十七世帯、合計五百五十四世帯。
- ④ 現在、応益・応能の割合も含め、国保事業の見直し作業を進めている。

## 議員11人が一般質問



国保制度を適切に運営していくため  
早急な対策が望まれます(織笠森地区の「お座敷広場」での検診の様子)